



富山の多様なものづくりと、歴史・文化にふれる8つのツアー



4 Areas
8 Tours

たかおかエリア

※当日の天候や交通状況により時間行程が変更する場合があります

Tour no.1 / 高岡の金工と、高岡鋳物発祥の地を訪ねる

見学 体験 ランチ

出発日：11月22日(水)
参加費：6,000円(税込) ※昼食・茶菓子・体験料含む
集合：新高岡駅
解散：新高岡駅 ※事前予約により高岡駅也可

400年の歴史をもつ高岡鋳物の工房のうち、鑄造(能作)、鍛金(シマタニ昇龍工房)、着色(杉本美装)の3つの現場を訪れます。伝統技法による錫のぐいのみ作りにも挑戦！高岡鋳物発祥の地・金屋町では、地元金工作家の茶釜を用いたお茶席も体験します。



スケジュール
10:20 新高岡駅集合(参考:東京駅7:20発)
10:50～ 能作(見学・錫のぐいのみ制作体験)
※昼食は錫の食器を用いた特製弁当
15:00～ 小泉邸(町家見学・お茶席体験)
16:20～ シマタニ昇龍工房(見学)
17:10～ 杉本美装(見学)
18:15 新高岡駅解散



全国の寺院の「りん」を作るシマタニ昇龍工房



かつて鋳物業をしていた歴史ある町家でお茶席を



Tour no.2 / 高岡の漆芸と、“動く美術館”御車山に出会う

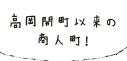
見学 体験 カフェ

出発日：11月17日(金)
参加費：4,000円(税込) ※茶菓子・入館料・体験料含む
集合：新高岡駅
解散：新高岡駅 ※事前予約により高岡駅也可



高岡鋳物同様に400年の歴史をもつ高岡漆器。ユネスコの無形文化遺産にも登録される御車山には、その技の粋が集結しています。その技のひとつ、青貝塗の工房での見学・体験、新たな商品づくりに挑戦するお店の見学のほか、御車山を守り伝えてきた土蔵造りのまちを歩きます。

スケジュール
13:00 新高岡駅集合(参考:東京駅10:24発)
13:20～ 高岡御車山会館(見学)
14:00～ 山町筋散策
14:30～ 山町茶屋(町家カフェでお茶タイム)
15:20～ 武蔵川工房(見学・螺鈿体験)
17:10～ 漆器くにもと(見学)
18:30 新高岡駅解散



高い工芸技術が凝縮された御車山を通年展示



土蔵造りの建物のほか、洋館など独自性ある建物が

となみエリア

Tour no.3 / 越中小京都・城端に根付く工芸と、民藝の深い哲学に触れる

見学 ランチ

出発日：11月17日(金)
参加費：4,000円(税込) ※昼食・入館料・拝観料含む
集合：新高岡駅
解散：新高岡駅 ※事前予約により高岡駅也可



安土桃山時代が起源とされる、城端の絹織物と城端蒔絵を受け継ぐ2人の若い作り手に出会うとともに、城端の精神性や菓子文化、祭り・伝統食に触れます。また、善徳寺や光徳寺は民藝運動にゆかりある場所。民藝運動に影響を与えたこの地の「土徳」とは何かを感じてみてください。

スケジュール
9:50 新高岡駅集合(参考:東京駅6:28発)
10:50～ 松井機業(見学)
12:05～ うなぎや南幸(南砺食材と伝統食のランチ)
12:50～ 田村萬盛堂 木型館(見学)
13:25～ 城端別院 善徳寺(拝観)
14:05～ 城端曳山会館(見学・小原好喬氏のお話)
16:00～ 光徳寺(拝観・太田浩史氏のお話)
18:30 新高岡駅解散



曳山会館では、城端蒔絵16代目・小原好喬氏がお話を



日本民藝協会常任理事・太田浩史氏に「土徳」を学ぶ



Tour no.4 / 2つの木工芸(庄川挽物木地・井波彫刻)と棟方志功の住居を訪ねる

見学 体験 ランチ

出発日：11月19日(日)
参加費：5,000円(税込) ※昼食・入館料・体験料含む
集合：新高岡駅
解散：新高岡駅 ※事前予約により高岡駅也可



となみエリアに息づく2つの木工芸、庄川挽物木地と井波彫刻の職人の手わざに出会うツアー。井波のまちでは、工房のほか、随所に見られる木彫作品にご注目。あわせて訪れる「愛染苑」では、板画家・棟方志功が戦時疎開をしていた際の住居で躍動感ある作品を鑑賞できます。

スケジュール
9:50 新高岡駅集合(参考:東京駅6:28発)
10:50～ 庄川水記念公園(庄川挽物木地のお話と実演)
※昼食は鮎・岩魚・五箇山豆腐を使った御膳
13:10～ 棟方志功記念館「愛染苑」(見学)
14:15～ 井波のまちあるき(散策・見学)
15:45～ くりえ〜と工房(彫刻体験)
17:45 新高岡駅解散



棟方志功の住居。絵が扉や柱、トイレなどあちこちに



年輪の現れ方で各々持ち味が異なる庄川挽物木地

とやまエリア

Tour no.5 / 売薬から発展した工芸と食を知り、北前船で栄えたまちなみを歩く

見学 ランチ

出発日：11月23日(木・祝)
参加費：3,000円(税込) ※昼食・入館料含む
集合：富山駅
解散：富山駅



明治・大正期、富山は手作りのガラス薬瓶製造で全国トップシェアを誇っていました。その後富山市が取り組んだガラスのまちづくりにより、市内にはガラス芸術の拠点が点在。このツアーでは、富山の薬とガラスにまつわる場所をめぐるとともに、北前船で栄えたまちなみを歩きます。

スケジュール
9:40 富山駅集合(参考:東京駅7:20発)
10:10～ 富山ガラス工房・富山ガラス造形研究所(見学)
12:30～ 池田屋安兵衛商店(薬膳ランチ)
13:30～ Taizo Glass Gallery、岩瀬のまちなみ(見学)
15:20～ 薬種商の館 金岡邸(見学)
16:05～ 富山市ガラス美術館(見学)
17:15～ 島川あめ店(見学)
18:00 富山駅解散



北前船の廻船問屋として活躍した森家



昼食は、漢方の教えに習った薬膳料理をどうぞ



Tour no.6 / おわらの町・八尾の、美しい型染め和紙を訪ね歩く

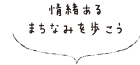
見学 体験 カフェ

出発日：11月18日(土)
参加費：2,000円(税込) ※茶菓子・体験料・拝観料含む
集合：富山駅
解散：富山駅



養蚕や売薬とともに発展してきた八尾和紙。ここでただ一軒紙すきを続ける桂樹舎では、創業者が柳宗悦氏に影響を受け、染色工芸家・芹沢銈介氏とともに開発した型染め紙を作っています。ツアーでは、工房の見学だけでなく紙すきの体験も予定しています。

スケジュール
13:10 富山駅集合(参考:東京駅10:52発)
14:00～ 桂樹舎和紙文庫(見学・紙すき体験・カフェでお茶タイム)
16:10～ 曳山展示館(見学)
17:10～ 専能寺(拝観)
18:45 富山駅解散



見事な型染め紙が天井を彩る専能寺



「おわら風の盆」で名高い八尾のまち

たてやまくろペエリア

Tour no.7 / “神々が宿る山”立山の麓で、越中瀬戸焼と和紙の作り手に出会う

見学 体験 ランチ

出発日：11月22日(水)
参加費：4,000円(税込) ※昼食・入館料・体験料含む
集合：富山駅
解散：富山駅



立山信仰の史跡が数多く残る立山町で、江戸の時代に栄えた越中瀬戸焼を昭和初期に復興した庄楽窯と、蛭谷和紙を継承し、立山町で和紙づくりを続ける川原製作所を訪ねる。和紙の原料に触れたり、和紙で護符を作ったりといった体験も。

スケジュール
9:40 富山駅集合(参考:東京駅7:20発)
10:30～ 越中瀬戸焼 庄楽窯(見学)
11:50～ 立山芦峠ふるさと交流館(郷土料理の御膳ランチ)
12:35～ 立山博物館・雄山神社芦峠中宮祈願殿(見学・拝観・和紙の護符作り体験)
16:40～ 川原製作所(見学)
18:30 富山駅解散



立山信仰の護符を自分で印刷してみよう



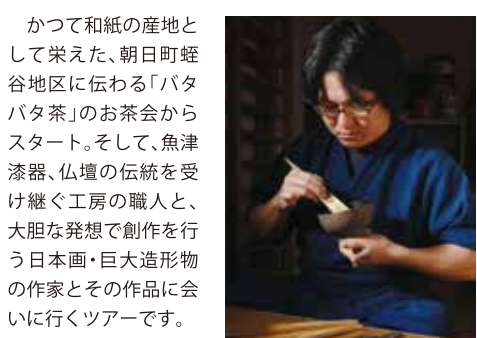
霊峰立山を神とする立山信仰の文化に触れられる



Tour no.8 / 室町から続く魚津漆器ほか、魚津・黒部の職人・作家とその作品に触れる

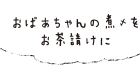
見学 カフェ

出発日：11月19日(日)
参加費：3,000円(税込) ※茶菓子・拝観料含む
集合：黒部宇奈月温泉駅
解散：黒部宇奈月温泉駅



かつて和紙の産地として栄えた、朝日町蛭谷地区に伝わる「バタバタ茶」のお茶会からスタート。そして、魚津漆器、仏壇の伝統を受け継ぐ工房の職人と、大胆な発想で創作を行う日本画・巨大造形物の作家とその作品に会いに行くツアーです。

スケジュール
13:10 黒部宇奈月温泉駅集合(参考:東京駅10:32発)
13:55～ バタバタ茶伝承館(地域のおばあちゃん達とお茶タイム)
15:15～ 鷹休漆器店・辻仏壇店(見学)
17:10～ 白雪山善巧寺(拝観・清河恵美さんのお話)
17:55～ STUDIO/HOT(見学)
18:45 黒部宇奈月温泉駅解散



インパクトある巨大造形作品(STUDIO/HOT)



バタバタ茶は黒茶を泡立てて飲む後発酵茶